

経験を力に！成長の夏！



先月は、市総体・県南総体が行われ、どの部活動も精一杯、力を発揮しました。特に9年生は、最後の大会となり、今までの集大成となりました。先日の「都和中Pride(特別号)」でもお知らせした通り、市総体においては、各部活動とも大変素晴らしい結果を取めました。地道な取り組みが成果として現れたことを大変嬉しく思います。

今月は、県大会を控えています。最後まで必死に頑張る姿を全校で応援したいと思います。また、総体での経験を力に、益々成長してほしいと願っています。

県南総合体育大会結果

【県大会出場】

・男バレー部 ・水泳部 ・女テニス部



サッカー	善戦	男 卓 球	【個人】 善戦
野 球	善戦	女 卓 球	【個人】 善戦
男ソフトテニス	【個人】 善戦	男 バレーボール	第 4 位【県大会出場】
女バス	善戦	女 ソフトテニス	【団体】 第 3 位（県大会出場） 【個人】 ベスト 8 齋藤・笹本【県大会出場】 ベスト 16 大久保・關野【県大会出場】
剣 道	【団体】 善戦		
水 泳	第 4 位 山崎 200m 平泳【県大会出場】 男・女フリーリレー 【県大会出場】 第 5 位 新村 200m 自由【県大会出場】 女メドレーリレー 【県大会出場】 浅野・大吉 50m 自由【県大会出場】 竹丸 50m 自由【県大会出場】		

「都和の10の約束」 《今月の重点目標》

☆家族に学校のできごとを話そう。

みなさんの学校生活において、家族は大きな支えとなっています。この重点目標を意識し、家族の一員としてできることを考えると共に、家族とのコミュニケーションをさらに図っていきましょう。

7月の生活目標

「1学期の反省を生かして、夏休みの
有意義な生活の仕方を考えよう。」

人間には心がとても大切です。優しい心、温かい心、広い心、深い心、これがとても大切なんです。しかし、優しくて、温かくて、そして深い心や広い心を持っていればいいのかというと、それだけでは世の中を渡っていくことはできません。世の中をしっかり生きていくためには、どうしても「強い心」が必要なのです。

では、強い心とはどういうものでしょうか？それは、少々のことを我慢できる心のことです。

たとえば、友達から悪口を言われたときに、すぐに怒り出さないで、じっと耐えている。そういう強い心を持ったときにはじめてきちんとした人生が送れるようになってくるのです。優しい心、温かい心というのは、自分のちょっとした努力で、わりと簡単に身につきます。でも強い心はなかなか身につけません。

では、どうやったら強い心ができるでしょうか？実は、**強い心を養うためには、ルールをきちんと守っていくことが大切**なのです。それをきちんと全部守っている人は日に日に心が強くなっていきます。それから社会の生活でも、信号をきちんと守るとか、車を運転するするときに車線をきちんと守るというように、決められたルールを守らなくてははいけません。あるいは家庭であれば、その家庭のルールというものがあります。これは文字で明記されているものではないかもしれませんが、その家庭のルールもきちんと守っていく。

このようにして、家庭で、社会で、学校で、生活におけるルールをきちんと守っていくようにするとだんだん心が強くなってくるのです。これと反対にルールが守れない人は、ルールを破るたびに心が弱くなっていくんです。自分の心が弱くなってもいいと思っている人は、どうぞルールを破ってください。でも、正しい強い心を持ちたいというふうに思う方は、ルールはきちんと守っていただきたいと思います。

ルールを守るためにまず大切なのは、**物事には「これをしてはいけない」ということがあると気づくこと**です。よく気づく人は、ルールに反することをやろうとする前に、「あっ、これをしてはいけない」と気づきます。

しかし、気づかない人は気づかないままルールを破ってしまいます。そして、ルールを破ったことすら気がつかない、ということになるんです。ですから、まず**気づく人になる**ということがとても大切です。

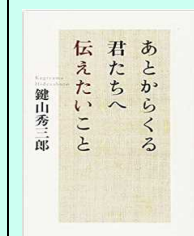
それでは気づく人になるためにはどうすればいいのでしょうか。

一つ目は、**掃除をすること**。「自分がきれいに掃除したところ」と「掃除をせずにきれいになっていないところ」の差を知ったとき、初めて、掃除の意義というものに気づくのです。気づくとはそういうことなのです。徹底して掃除をすること、やるからには心を込めてやる。これが気づく人になっていく大きな要因の一つです。

気づく人になる二つ目です。これを皆さんが毎日心がけていただくと、必ず気づく人になります。それは、何かといえば、「**人を喜ばす**」ということ です。

いつも人を喜ばせようと思っている人は、どんどん気づく人に変わっていきます。

反対に、人を喜ばすということがなく、**人から何かをしてもらうことしか知らない人には、物事に何も気づかないまま、人生が終わってしまいます**。気づくということはとても大切なんですね。



「あとからくる 君たちへ
伝えたいこと」

(株) イエローハット創業者

鍵山秀三郎 著より抜粋

※中学生だからこそ、大切なことは何なのかを、それぞれが考えてほしいです。